

第3回 CISPRJ 電波雑音委員会 議事要録

1. 開催日時:平成 29 年 1 月 16 日(月) 15:00~16:35
2. 開催場所:(一財)VCCI 協会 5 階 A+B 会議室
3. 出席者:(順不同、敬称略) 委員 18 名、参加 9 名、事務局 2 名 計 29 名

<委員等>

徳田委員長<東京大学大学院>	山下副委員長<一般財団法人 電気安全環境研究所>
水口委員<日本放送協会>	諸田委員<一般社団法人 インターホン工業会>
相川委員<電気事業連合会>	中森委員<一般社団法人 電子情報技術産業協会>
大澤委員<一般社団法人 日本アミューズメントマシン協会>	平伴委員<一般社団法人 日本照明工業会>
安田委員<一般社団法人 日本自動販売機工業会>	前川委員<一般社団法人 日本電機工業会>
高岡委員<一般社団法人 日本配線システム工業会>	大浦委員<一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会>
土屋委員<一般社団法人 日本陸用内燃機関協会>	川脇委員<一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会>
星 委員(代理:秋山)<一般財団法人 VCCI 協会>	三塚委員<一般財団法人 テレコムエンジニアリングセンター>
梶原委員<一般財団法人 日本品質保証機構>	山下委員<株式会社 UL J a p a n>

<参加>

経済産業省製品安全課 遠藤課長補佐	
総務省電波環境課 谷口電波監視官	
義経<独立行政法人 製品評価技術基盤機構>	宮川<独立行政法人 製品評価技術基盤機構>
中野<一般社団法人 日本電機工業会>	井上<一般財団法人 電気安全環境研究所>
小田<一般財団法人 VCCI 協会>	長部<一般財団法人 VCCI 協会>
島先<一般財団法人 VCCI 協会>	

<事務局>

鶴見, 村松(記)<一般財団法人 VCCI 協会>

<欠席> 委員5名(委員長への委任状5名)、参加2名 計7名

野本委員<超音波工業会/高周波機械工業会>	加藤委員<一般財団法人 電波技術協会>
石関委員<一般財団法人 日本冷凍空調工業会>	上野委員<地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター>
正岡委員<一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター>	
総務省電波環境課 柴田係長	古川<一般社団法人 日本電気協会>

4. 配付資料

- 資料 1 : 第 2 回 CISPRJ 電波雑音委員会 議事要録 (案)
- 資料 2-1 : CISPRJ 15:2017 整合規格案
電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要
- 資料 2-2 : CISPRJ 15:2017 整合規格案
- 資料 2-3 : CISPRJ 15:2017 審査基準との整合性チェックリスト
- 資料 2-4 : CISPRJ 15:2017 技術基準との整合確認書
- 資料 2-5 : CISPR 15 WG における整合規格案のスケジュール見直し案

- 資料 3-1 : CISPRJ 32:2017 整合規格案
電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要
- 資料 3-2 : CISPRJ 32:2017 整合規格案
- 資料 3-3 : CISPRJ 32:2017 審査基準との整合性チェックリスト
- 資料 3-4 : CISPRJ 32:2017 技術基準との整合確認書
- 資料 3-5 : CISPR 32 WG における整合規格案のスケジュール見直し案

5. 議事概要

5-1: 開会

本日の出席委員数について事務局より報告があった。委員総数 23 名に対し、委員長を除く委員数は 22 名、出席委員数 18 名、欠席委員数 5 名であり、2/3 以上の出席が確認され、委員会規約第 9 条に定める全委員数の 2/3 以上の出席を充足しており、本委員会は成立している。なお、欠席委員 5 名については、5 名全員より委員長への委任がされている。委員会の審議の決定に際しては、出席委員の過半数の賛成者をもって決定する。賛否同数の場合は、委員長の投票及び委任状の投票を加えて決定することが確認され、議事を進めた。

5-2: 第2回 CISPRJ 電波雑音委員会 議事要録(案)の確認(資料 1)

- ・ 第 2 回 CISPRJ 電波雑音委員会議事要録(案)については、既に配布済みであり、修正等がある場合は、1月19日までに事務局へ連絡をすることで承認がされた。なお、第 2 回 CISPRJ 電波雑音委員会において、委員会名称の変更が承認されており、委員会規約の委員会名称については、読み替えにて対応することで承認された。

5-3: 徳田委員長の挨拶

- ・ 徳田委員長ご挨拶の後、委員長が議長となり、審議に入った。

5-4: CISPRJ 15 整合規格案についての審議(資料 2-1、2-2、2-3、2-4、2-5)

- ・ 平伴委員(兼 WG 主査)より、資料に基づき説明があった。

ア. CISPRJ 15 :2017 電気用品安全法の技術基準の解釈 別表 第十二に提案する規格の概要

- － 担当委員会は、CISPRJ 電波雑音委員会。
- － 事務局は、一般財団法人 VCCI 協会。
- － 規格番号(発行年)は、CISPRJ 15 (2017)。
- － 対応国際規格番号(版)は、CISPR 15 (第 8.0 版 2013)。
- － 規格タイトルは、電気照明及び類似機器の無線妨害波特性の許容値及び測定法。
- － 適用規格に含まれる主な電気用品名は、電気スタンド、家庭用吊り下げ型けい光灯器具、エル・イー・ディー・ランプ、エル・イー・ディー・電灯器具等。
- － 廃止する基準及び有効期間は、J55015(H20)、有効期間 3 年間。
- － 審議中に問題となったこととして、対応国際規格では、解釈票 1 及び 2 が別途発行されており、国内答申ではこの内容が追加して盛り込まれている。この規格では、国内答申と同様に、解釈票を採用し、本文中の対応する箇条に解釈票を参照する規定文を追加している。その他、この規格の審議で問題となった事項は、特になし。
- － 補足として、この規格は、国際整合のとれた規格を作成する方針に基づき、CISPR 15 第 8.0 版(2013)の国内答申を基とし、技術的内容を変更することなく作成した CISPRJ 規格である。
- － 技術的内容を変更していないが、JIS Z 8301(規格票の様式及び作成方法)に従ったエディトリアル

な修正を実施している。

イ. CISPRJ 15:2017 整合規格案

－CISPRJ 15:2017 整合規格案について、要点のみ説明があった。

→ 技術的内容に関して、8.1.1 電源端子妨害波電圧測定に記載のある CISPR 16-1-2 で規定されている $50\ \Omega/50\ \mu\text{H}+5\ \Omega$ の擬似電源回路網について、150kHz～30MHz において 2 種類の擬似電源回路網が必要となるのではないかとの意見があったが、擬似電源回路網の仕様を確認した結果、問題はなく、また、国内答申と同じ記載内容であることから、修正の必要のないことが確認された。

→ エディトリアルな指摘として、偶数ページに記載されている規格番号の“CISPRJ15”は、J と 15 の間に半角スペースが必要との意見があり、修正する。他の箇所についても再確認する。

ウ. CISPRJ 15:2017 審査基準との整合性チェックリスト

－審査基準との整合性チェックリストについて説明があった。

→ 策定プロセスの公平性・公開性に記載されている“総務省国内答申の審議体制は”の記載は、審査基準との整合性について、総務省国内答申の審議体制を確認しているように捉えられる可能性があるとの意見があり、策定プロセスの公平性・公開性に記載されている他の箇所も含め、表現を検討することとなった。

エ. CISPRJ 15:2017 技術基準との整合確認書

－該当する条項、第十八条に記載した規格タイトル・概要について説明があった。

オ. CISPR 15 WG における整合規格案のスケジュール見直し案

－本日の委員会にて承認されれば、2 月 8 日の解釈検討第 2 部会へ上程する予定であることの説明があった。

・CISPRJ 15:2017 整合規格案について審議の結果、本件は全員の賛成を得て、承認された。

・2 月 8 日に開催予定の電気用品調査委員会 解釈検討第 2 部会へ、整合規格案を上程することが承認された。

5-5: CISPRJ 32 整合規格案についての審議(資料 3-1、3-2、3-3、3-4、3-5)

・秋山氏(星委員代理、兼 WG 主査代理)より、資料に基づき説明があった。

ア. CISPRJ 32:2017 電気用品安全法の技術基準の解釈 別表 第十二に提案する規格の概要

－担当委員会は、CISPRJ 電波雑音委員会。

－事務局は、一般財団法人 VCCI 協会。

－規格番号(発行年)は、CISPRJ 32 (2017)。

－対応国際規格番号(版)は、CISPR 32 (第 2.0 版 2015)。

－規格タイトルは、マルチメディア機器の電磁両立性- エミッション要求事項-。

－適用規格に含まれる主な電気用品名は、電子楽器、ラジオ受信機、テレビジョン受信機、複写機等。

－廃止する基準は、J55013 (H22)及び J55022 (H22)。

－廃止する基準の有効期間は、関係する工業会から意見収集中であり、有効期間〇年として記載している。有効期間については、意見収集後、具体的な期間を記載した上で、解釈検討第 2 部会へ提出する。

→ 廃止する基準の有効期間については、CISPR 32 WG において、工業会の意見を 1 月末までに収集後、CISPRJ 電波雑音委員会委員へメールにて審議依頼することとなった。

－審議中に問題となったこととして、国際規格の正誤票(表 B.1 表示及びビデオポートの動作方法

に関するもの)の扱いは、正誤票は国際規格に含まれるため、正誤票を反映した整合規格を作成することとした。DC 電源ポートを持つ機器及び FM カーラジオの扱いは、国際整合のとれた規格を作成するため、DC 電源ポートを持つ機器及び FM カーラジオに関する規定はそのまま残すこととした。

→補足として、この規格は、国際整合のとれた規格を作成する方針に基づき、CISPR 32 第 2.0 版(2015)の国内答申を基とし、技術的内容を変更することなく作成した CISPRJ 規格である。

→技術的内容を変更していないが、JIS Z 8301(規格票の様式及び作成方法)に従ったエディトリアルな修正を実施している。

イ. CISPRJ 32:2017 整合規格案

→第 2 回 CISPRJ 電波雑音委員会で報告済みであり、修正箇所のみ報告があった。

→技術的な内容に関して、引用規格の IEC 61000-4-6 について、欄外の記載内容が年号の違うものに対する説明が記載されており、新旧どちらの規格を引用するのか誤解を与える可能性があるのではないかと意見があった。CISPR 32 及び国内答申の内容を確認した結果、整合規格案と同様の表現となっていること、及び欄外に記載されている引用規格の年号が違っていても、規格自体の内容は同じものなので誤解は発生しないとの説明がされ、修正の必要のないことが確認された。

→引用規格 CISPR TR 16-4-3 は、引用規格に入れなくてよいかとの意見があったが、参考文献に入っており、修正の必要のないことが確認された。

→エディトリアルな指摘として、偶数ページにページ数と規格番号の記載がないとの指摘があり、修正する。

→規格番号の後のコロンは、全角となっているが、半角に統一するよう修正する。

ウ. CISPRJ 32:2017 審査基準との整合性チェックリスト

→審査基準との整合性チェックリストについて説明があった。

→CISPRJ 15 整合規格案の審査基準との整合性チェックリストの審議の際の検討課題については、CISPRJ 32 向けのチェックリストも同様の扱いとすることとなった。

エ. CISPRJ 32:2017 技術基準との整合確認書

→該当する条項第十八条に記載した規格タイトル・概要の説明があった。

オ. CISPR 32 WG における整合規格案のスケジュール見直し案

→本日の委員会にて承認されれば、2 月 8 日の解釈検討第 2 部会へ上程する予定であることの説明があった。

・CISPRJ 32:2017 整合規格案について審議の結果、本件は全員の賛成を得て、承認された。

・2 月 8 日に開催予定の電気用品調査委員会 解釈検討第 2 部会へ、整合規格案を上程されることが承認された。

5-6:報告事項、その他

・次回開催日については、規約より、遅くとも 5 月開催予定となっており、関係者と調整後、決定することとした。

5-7:閉会

以上で、本日の審議を終了し、散会した。

— 以 上 —